

コース名	切削加工の理論と実際	コース番号	CM131	開講日	12/10月～12月
<p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.各種加工法の理論 旋削、フライス、切削抵抗、表面性状、アップ・ダウンカット 2.旋削加工実験 <ul style="list-style-type: none"> ・送り速度と表面性状の関係 ・工具の刃先形状と表面性状の関係 ・切削条件と切りくず処理の関係 ・切込み量と切削抵抗の関係 など 3.フライス加工実験 <ul style="list-style-type: none"> ・フライス工具と切削抵抗の関係 ・正面フライスのインサート(チップ) 材種と表面性状の関係 ・エンドミルのアップ、ダウンカットと表面性状の関係 など 4.実験データのまとめと考察 <p>●目的</p> <p>NC工作機械による加工が主流の今、切削現象を目の当たりにすることが少なくなってきています。工作機械の性能が向上しても切削の原理は変わりません。高精度、高品質、高能率化が求められている今こそ、切削理論をもう一度見直し、それを実際の現場に生かしていくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>本コースでは、切削加工における加工面粗さや加工条件、加工能率、切りくず処理などの生産現場における問題点の解決に役立つ知識・技術について切削加工実験を通して学び、生産効率や品質向上を図るための切削加工の理論と実際との相違点を理解し、切削加工の理論と切削工具の活用技術を習得します。</p> <p>※マシニングセンタ、旋盤を使用している方向けです。</p>	  				
使用機器	旋盤、フライス盤、マシニングセンタ、各種バイト、各種チップ、各種測定機				
持参品	筆記用具、作業服、保護眼鏡	定員	10名	受講料	13,500円
講習時間	9:30～16:30 3日間 (18時間)				